

Newsletter

学会会報

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

<目 次>

- ・ 代表理事挨拶、事務局ならびに論文投稿先移転のお知らせ。
- ・ 理事会報告
- ・ 総会報告
- ・ 第 16 回大会報告
- ・ 学会誌「カリキュラム研究」第 15 号 論文募集
- ・ 事務局から

< 代表理事 挨拶 >

[代表理事就任に当たって] 新代表理事 田中統治 (筑波大学)

いずれ事務局はお引き受けすることになるだろうと覚悟はしておりましたが、代表理事まで務めるには荷が重いと感じております。しかし、お引き受けしました以上は、ご期待にお応えできるように全力を傾けたいと存じます。私の手元には 1990 年 12 月に当学会が創設された頃の「日本教育新聞」の記事があります。創設から 15 年を経て振り返れば、ここまで大きくしかも自由闊達・和気藹々とした学会になるとは予想していませんでした。当時の勢いと初志を忘れることなく、これまで多大なご尽力をいただきました柴田義松元代表理事、安彦忠彦前代表理事をはじめ、理事の皆様からのご支援を賜りながら、微力ですが当学会の発展のために尽せば幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。2001 年 4 月に筑波大学が大学院に改組・再編されたとき、分野名を教育課程学からカリキュラムに改め、当学会との一体化を図りました。今後も、カリキュラムの共通視野から、国内のみならず海外の研究者・実践家との交流をさらに一層広げたく、根津朋実事務局長と共に大任を果たして参りたいと存じます。何分不慣れな点がありますので、ご迷惑をかけることがあるかと思いますが、その折は「和気藹々」の学風でご寛容の程お願い申し上げます。末筆ながら、専門外にもかかわらず、これまで事務局を支えてくださいました三尾忠男前事務局長にも厚くお礼を申し上げます。

[代表理事退任に当たって] 前代表理事 安彦忠彦 (早稲田大学)

この度の 4 月の役員選挙で、2005 年度の総会報告をもって代表理事を退任することになりました。この 2 期 6 年間の期間を、無事に務めて終わることが出来たのは、何よりもまず、理事の方々のご協力、さらには会員諸氏のご支援の賜物と、心から感謝し御礼を申し上げます。この間、いくつか問題が起りましたが、それも学会として成長してきた証なのではないかと、前向きに処してきました。お陰さまで、今では教育関係の学会として明確な市民権を得ており、公に認知されていることを、会員のみならずとも喜びたいと思います。今後は、田中統治新代表理事のもと、私も理事として可能な限り、学会の発展のために微力を尽くすつもりです。いずれ学会誌で正式にご挨拶いたしますが、取り急ぎ本ニューズレターで、一言会員の皆様に御礼のご挨拶を申し上げます。

< 事務局ならびに論文投稿先移転のお知らせ >

2005年度の総会報告をもって学会事務局の移転が決まりました。また、学会誌の論文の投稿先も編集委員会委員長の交替により変更しております。新しい住所は、本会報の末ページをご覧ください。なお、電子メールアドレス、Web PageのURLは変更しておりません。

< 理事会 報告 >

[2005年6月17日(金)午後6時～7時半 (於) 東京学芸大学]

今年度1回目の理事会が6月17日(金)午後6時から7時半まで、東京学芸大学小金井クラブで開催されました。下記の議題を審議、決定しましたのでお知らせいたします。

(1) 総会議案について

2004年度活動報告・決算(案)および2005年度活動方針・予算(案)について、以下のような、2004年度に数字上の変化のあった項目を含め、例年の諸項目をすべて承認した。うち、予算(案)については、従来0円であった学会賞の予算額を50,000円計上することとした。

- ・現況概要：会員総数750名(一般626名、学生113名、団体11名)、うち新入会員50名。会費納入率73.5%(昨年度68.5%)。
- ・学会誌『カリキュラム研究』第14号発行。会報「ニューズレター」第35,36,37号発行。

(2) 学会賞について

審査委員会による選考の結果、2004年度は該当者なしであった。

(3) 役員選挙結果について

選挙人548名、被選挙人564名で4月12日から5月16日の期間で実施し、投票総数は150票であった。5月21日に選挙管理委員会(委員長：松尾知明会員[国立教育政策研究所]、河村美穂会員[埼玉大学]、佐藤英二会員[明治大学])による開票の結果、20名の理事候補が選出されたことが報告された。また、推薦による理事10名について事務局原案が現理事30名によって承認されていることが報告された。

(4) 次期大会開催校について

次年度は、西の方ということで奈良教育大学において開催することで内諾を得たとの原案を承認した。なお、大会会期は原則7月第一土曜日からとすることが確認された。ただし、次年度については、その第一土曜日が7月1日であり、6月末に理事会となるため、翌週の7月8日、9日を会期とすることが承認された。

(5) その他

1) 国際交流委員会報告

山口委員長が欠席のため、中留委員より韓国教育課程学会長・金(キム)ルジョン氏が来日し、第16回大会へ参加することが紹介された。

2) 年会費延滞、ならびに連絡先不明の会員について

年会費延滞が複数年にわたっている会員にはその状況ならびに会員資格失効に関する連絡を事務局からすること、連絡先不明の会員は理事にその一覧を示し、可能な限り連絡先を探すこととした。

3) 大会発表資格について

大会での発表資格について「大会発表者は、原則として当該年度までの年会費を大会終了時までには納入のこと。」とし、会報(ニューズレター)、大会参加要領などを通じて周知することとした。

[2005年6月18日(土)午後12時～13時 (於) 東京学芸大学]

新理事会が6月18日(土)午後12時から13時まで、東京学芸大学S105教室で開催されました。下記の議題を審議、決定しましたのでお知らせいたします。

(1) 代表理事の選出について

規定により代表理事を互選することとし、田中統治理事を推薦する声があり、満場一致により代表理事に選出した。

(2) 会計監査、事務局長の選出について

会計監査については、東西から1名ずつ、交替は1度に片方の1名という従前の方法により、大倉健太郎会員(玉川大学)に留任していただき、新たに佐藤真会員(兵庫教育大学)が推薦され、承認された。事務局長を根津朋実会員(筑波大学)とすることが田中代表理事より提案され、承認された。また、事務局を筑波大学へ移転することと、本年度末まで各種会計業務は旧事務局で行うことが承認された。

(3) 各種委員会について

紀要「カリキュラム研究」第15号の締め切りが近いため、投稿先となる紀要等編集委員会を早急に決める必要があり、磯田文雄会員(筑波大学)を委員長とすることとした。

< 総会 報告 >

2005年6月19日11時40分から12時30分まで東京学芸大学N401教室で総会が開かれた。理事会で承認された議案がすべて承認された。

(1) 第15回大会年度決算報告(2004年4月1日～2005年3月31日)

収入の部	項目	予算額(円)	決算額(円)
	学会費	3,700,000	4,427,500
	入会金	100,000	100,000
	寄付	0	215,000
	雑収入・冊子代・利子等	50,000	93,560
	前年度繰越金	2,848,381	2,848,381
	合計	6,698,381	7,684,441

支出の部	項目	予算額(円)	決算額(円)
	第15回学会大会経費	585,000	730,000
	小計	585,000	730,000
	第14号紀要刊行費	850,000	668,136
	学会賞	0	0
	印刷費(会報・封筒等)	300,000	343,510
	通信費	600,000	574,485
	会合費(含交通費)	500,000	575,290
	事務局人件費	760,000	977,866
	消耗品費、その他(雑費)	100,000	240,189
	財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
	各種委員会経費	400,000	239,302
	・編集委員会	200,000	228,302
	・広報委員会	50,000	0
	・国際交流委員会	100,000	11,000
	・研究委員会	50,000	0
予備費	300,000	0	
次年度繰越金	2,253,381	3,285,663	
合計	6,698,381	7,684,441	

(2) 第16回大会年度(2005)活動方針について

1) 一般方針

1. 年次大会の実施
2. 学会誌『カリキュラム研究』第15号発行
3. 学会賞
4. 会報、その他の広報活動
5. 会員勧誘、会費納入促進活動

2) 第16回大会年度予算案(2005年4月1日~2005年3月31日予定)

収入の部	項目	予算額(円)
	学会費	3,700,000
入会金	100,000	
雑収入	50,000	
前年度繰越金	3,285,663	
	合計	7,135,663

支出の部	項目		予算額(円)
	第16回学会大会経費準備費		585,000
第15号紀要刊行費		850,000	
各種委員会経費	編集委員会	200,000	
	広報委員会	50,000	
	国際委員会	100,000	
	研究委員会	50,000	
学会賞		50,000	
印刷費(会報等)		300,000	
通信費		600,000	
事務局人件費		760,000	
会合費(含交通費)		500,000	
消耗品費		100,000	
財)日本学術協力財団賛助会費		50,000	
予備費		300,000	
次年度繰越金		2,640,663	
	合計	7,135,663	

(3) 第17回大会(2006年)開催校について

奈良教育大学を会場とし、2006年7月8日、9日を会期とすることが承認され、当該校の安藤輝次理事から歓迎の挨拶があった。

(4) その他

大会での発表資格を「大会発表者は、原則として当該年度までの年会費を大会終了時まで納入のこと。」とし、会報(ニューズレター)、大会参加要領などを通じて周知することとした。

< 新役員 >

任期は3年間、2008年第19回全国大会の総会まで。

理事(50音順) 定員30名 は推薦による理事

浅沼 茂(東京学芸大学)
安彦忠彦(早稲田大学)【再任】
天野正輝(龍谷大学)【再任】
新井郁男(放送大学)【再任】
安藤輝次(奈良教育大学)
池野範男(広島大学)
市川 博(帝京大学)【再任】
臼井嘉一(福島大学)【再任】
大澤正子(東京都渋谷区立幡代小学校)
片上宗二(広島大学)
加藤幸次(名古屋女子大学)【再任】
小泉祥一(東北大学)【再任】
佐藤 学(東京大学)【再任】
柴田義松(成蹊大学)【再任】
志水宏吉(大阪大学)【再任】
高田喜久司(上越教育大学)
田中統治(筑波大学)【再任】
寺西和子(愛知教育大学)【再任】
豊田ひさき(名古屋大学)【再任】
長尾彰夫(大阪教育大学)【再任】
中留武昭(西南女学院大学)【再任】
中野和光(広島大学)【再任】
西川敏之(山口県阿東町立德佐小学校)【再任】
松下佳代(京都大学)
的場正美(名古屋大学)【再任】
無藤 隆(白梅学園短期大学)【再任】
村川雅弘(鳴門教育大学)【再任】
橋本美保(東京学芸大学)
八尾坂 修(九州大学)
山口 満(びわこ成蹊スポーツ大学)【再任】

会計監査(2名)

大倉健太郎(玉川大学)【留任】、 佐藤 真(兵庫教育大学)

幹事(事務局長)

根津朋実(筑波大学)

< 学会誌第15号 論文原稿募集 >

学会誌「カリキュラム研究」第15号(2006年3月発行予定)の論文原稿を募集しています。論文投稿の締め切りは本年9月末日、送り先は紀要等編集委員会宛です。お間違えのないようお願いいたします。また、投稿にあたり、当該年度までの年会費の完納をお願いいたします。

編集委員会の住所が変わりました！！

〒305 8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系内

日本カリキュラム学会 事務局

「カリキュラム研究」編集委員会

ここまで宛名に書いてください。

< 事務局から >

(1) 平成17年度分 会費納入のお願い

年度の半ばになりました。平成17年度分の年会費の納入をお願いいたします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年度までの学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。前号で同封しております払い込み票をご利用になり、できるだけ早く納入してください。払い込み票は、年2回(春：3月号、冬：12月号)の会報に同封しております。

(年会費：一般6,000円、学生3,000円、団体10,000円)

(2) 事務局移転について

早稲田大学教育学部内に設置しておりました事務局を下記の住所へ移転を始めております。会員からの一般的な問い合わせは、新しい事務局にて対応いたします。事務局機能の完全移転は2006年3月末日に完了する予定です。

〒305 8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学教育学系内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL & FAX 029 - 853 - 6724

or 029 - 853 - 6723

振替口座番号：00880 0 69090

E mail : jscs@nifty.com

学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>